



学校給食で使用するお米の産地について

保護者の皆様

令和5年3月吉日

日頃より本市の教育振興にご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、学校給食で使用するお米の産地について、令和4年11月より地産地消を進めるため、千葉県で獲れたお米を使用していますが、現在も福島県の3つのまちとの交流をはかっており、お互いのまちのつながりを深めるため、東日本大震災にちなんだ3月と、市川の梨が最盛期になり食材で交流できる9月については、福島県産のお米を学校給食で使用したいと思えます。

ご理解・ご協力くださいますよう、よろしく申し上げます。

1 学校給食で使用するお米の産地



3月・9月 『福島県産 コシヒカリ』を使用します

その他の月 『千葉県産 ふさこがね、粒すけなど』を使用します

【3月】 東日本大震災にちなみ、市川市立学校では3月11日を防災教育の日としています。福島県のお米を食べて、災害への備えや被災者への思いやりの心を育む機会とします。

【9月】 9月は、市川のなしの最盛期です。交流する福島県のまちでは市川のなしを、市川市では福島県のお米を食べて、給食を通じた交流を深めます。

2 注意事項（お願い）

学校給食では、お子さんや保護者の希望により、お米だけのメニュー変更を個別に行うことができません。3月と9月のお米の産地変更に伴う給食の相談は、各学校へお問合せください。

市川市では、福島県の3つのまちと交流をはかっています。

福島県喜多方市・西会津町・北塩原村と「相互交流に関する協定」を結び、災害支援をはじめ、教育、観光、物産などのさまざまな分野で協力や交流をはかることで、住民サービスの向上や地域の活性化を目的としています。

【学校給食以外での相互交流の取り組み(令和4年度)】

- ・中学校等の校外学習での交流訪問
- ・市川市総合防災訓練で「喜多方ラーメンブース」の出店
- ・道の駅いちかわ「うめえもんフェア」で特産品の販売

